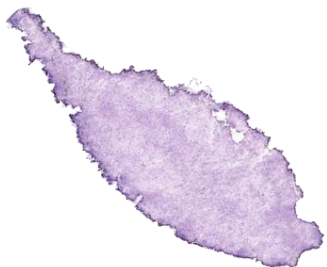
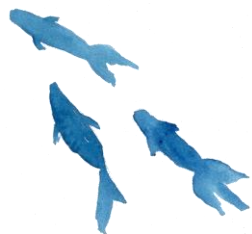


第十五回亀山市民川柳大会

一般の部 受賞作品集



受賞句

《一般の部》

市長賞	深呼吸一つ分だけ軽くなる
市議長賞	薬づけでしたね粉になる遺骨
市教育委員会教育長賞	効能が直ぐありそうな粉薬
芸術文化協会会長賞	夕やけが消えてひとりになるやっど
三重県川柳連盟賞	海のごみ優しく受けてやる孤島

中日新聞社賞	中日新聞社賞	中日新聞社賞	中日新聞社賞	中日新聞社賞
風鈴が励ます午後の手内職	祭りの夜買った風鈴よく笑う	プラゴミで半透明になった海	やわらかい言葉でやっと分かり合おう	軽い財布で冒険はできません

	宿題「やっど」 入選句
入選	戦争の記憶令和で語られる
入選	令和の誓い上皇さまも荷を降ろす
入選	返す気にやっどなれたの免許証
入選	やっど来た二死満塁のツースリー
入選	素振り重ねやっど極めた打撃術
入選	蛇行重ねやっど夫婦も八十路超え
入選	梅雨明けてやっど干してる鬱の顔
入選	トンネルを幾つも抜けて父の墓
入選	猛暑すぎやっどお目見え秋苗
入選	時が過ぎ悲しみやっど消えてゆく

入選	仲へ出てやっと一皮剥けました
入選	やっと咲く花に努力をほめられる
入選	探してたやっつとに出合い空の青
入選	終電に戦士の仮面やっつと脱ぐ
入選	どん尻にガンコな貝が口を開く
入選	未熟児を愛が育てて重くなる
入選	使いこなせた頃にもう新型がでる
入選	田舎のバスやっつとが並ぶ時刻表
入選	顔を見せ指紋を見せてドアが開く
入選	バリアフリーの風国会にやっつと吹く

入選	君とボクやっとなげた点と線
入選	通り雨やっど人間取りもどし
入選	冤罪をやっど掴んだ長い旅
入選	結び直した今日と言う日を忘れない
入選	七転び八起きの果てのにんげん味
入選	半分は運で喜劇が来るやっど
入選	暮れなぞむ街でやっどを見失う
入選	二度三度転んで起きてきたやっど
入選	お互いがやっどと空気になる夫婦
入選	かすみ草やっど主役のウエディング

入選	やわらかい言葉でやつと分かり合おう
入選	夕やけが消えてひとりになるやつと
入選	七回忌やつと過去から抜け出した
入選	風呂敷にやつと結果が包まれる
入選	解き放し自由な孤独噛みしめる
入選	正解がやつと解けたのは老後
入選	日記閉じやつと自分に戻る夜
入選	確執のトンネル抜けて響き合おう
入選	至難越えやつと仏の手に触れる
入選	幸せとやつと思える余白の日

宿題「海」 入選句

入選	生物を育む海の自由主義
入選	憧れた海は厳しく深かった
入選	さあ海よ語ろう自由とは何だ
入選	モーニングサービス海が付いている
入選	広い背に男の海が見えてくる
入選	蒼い海ゆつくり邪心洗われる
入選	愛の海で溺れていますいま私
入選	トキメキを拾いに夏の海へ行く
入選	高潮も津波もあつた海で生き
入選	妥協して荒れてる海が風となる

入選	戦友が待つと散骨海に消え
入選	真つ青な海が素直になれと言う
入選	流木の海は朝から時化ている
入選	海に出て今日も叫んでいる孤独
入選	妥協したところの傷が癒えぬ海
入選	大国のエゴが海図を塗り変える
入選	七四で七つの海を制覇する
入選	無位無冠男の海は今日も風
入選	本物の海古里の誇りです
入選	人間の海に溺れぬ力溜

入選	海怒れ北のミサイルプラゴミに
入選	ゴミ投棄海の悲鳴を聞く思い
入選	思い出も悩みも捨てた青い海
入選	やり直す勇気をくれた広い海
入選	情報の海でクラゲになっている
入選	ポケットに無限の海を持つ子ども
入選	何もかも呑み込み海は凧いでいる
入選	わだかまり解かしてくれた白い海
入選	海に来てやっと鎮まり返る胸
入選	広い海知らないままの養殖魚

入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選
ブラゴミで半透明になった海	海のゴミ優しく受けてやる孤島	風の海波がささやく恋の歌	夢追って海峡渡る丸木舟	鈍色の海に想いを捨ててに行く	かすり傷ばかり浮かせて父の海	完敗の時だけ海に叱られる	何故急に平和遠のく支那の海	青春の海が吠えてる甲子園	住みにくくなつたと嘆く深海魚

宿題「風鈴」 入選句

入選	南部鉄錆びて味出る鈴の音
入選	怒り肩風鈴フオロー鎮められ
入選	風鈴で涼しくなれる日本人
入選	風鈴は亡夫の自慢南部鉄
入選	熱帯夜 風鈴ちよつと生き返る
入選	熱帯夜 土鈴の風と生ビール
入選	街道をゆく軒の風鈴愛でながら
入選	大都会風鈴恋しいタワー族
入選	風鈴のリズムへ夏を遊ばせる
入選	風鈴の音色睡魔を連れてくる

入選	風鈴に催眠術をかけられる
入選	風鈴が寂しい胸を突いてくる
入選	聞く人もなく風鈴が揺れる村
入選	ちようどよい風を風鈴待っている
入選	熱帯夜音なく風鈴浮いている
入選	良い知らせ風鈴の音心地よく
入選	厄払い風鈴の音役にたつ
入選	地震予知した風鈴が鳴り止まぬ
入選	風鈴が風のアリバイ知っている
入選	風鈴にかけた願いが届く夏

入選	亡き友がくれた風鈴話好き
入選	風鈴が迎えてくれた無人駅
入選	風鈴の音が素肌に染みてくる
入選	風鈴をすり抜けていく千の風
入選	風鈴がかくれた秋を呼んでくる
入選	風鈴がざわめきだした夏の恋
入選	風鐸の心揺らせる風に逢う
入選	風鈴も女三人には負ける
入選	風鈴がひと役買っている夜風
入選	チリンチリン母のベッドに届く風

入選	風鈴が励ます午後の手内職
入選	祭りの夜買った風鈴よく笑う
入選	視聴率気にせず風鈴鳴っている
入選	あなたにもやさしい風鈴聞こえます
入選	空家から風鈴の音刻む過去
入選	風鈴も耳に入らぬ負け将棋
入選	風鈴がたまに音程外し鳴る
入選	風鈴が鳴って揉め事ない家族
入選	風鈴は今も昭和の風を待つ
入選	旅土産の風鈴旅へ誘う音

宿題「粉」 入選句	入選	身を粉にし生きて足りない二千万
入選	愛を探して糠床をかき混ぜる	
入選	代役の父と戦うてんぶら粉	
入選	粉々になると散骨されやすい	
入選	粉になるまでは続けるみじん切り	
入選	火の粉浴びる石と石とがぶつかって	
入選	粉薬喉にはりつき声も出さず	
入選	粉薬咽せやすくなり老いを知る	
入選	粉っばいメイクで目立つ皺の数	
入選	粉飾もときには欲しい妻のシワ	

入選	散骨を希望している遺言書
入選	降りかかる火の粉は避けて世を渡る
入選	無党派でいつも火の粉を浴びている
入選	山歩き花粉土産に怒る妻
入選	もちとり粉餅の行儀を整える
入選	粉薬効かねばならぬこの苦さ
入選	コンビニの団子になれてゆく位牌
入選	花粉症マスクが似合う人になる
入選	天花粉と言ってじいちゃん笑われる
入選	小麦粉になったうどん粉メリケン粉

入選	粉砂糖魔法がかかるパンケーキ
入選	粉々に割れて別れた離婚劇
入選	割り引きに違和感のある金粉酒
入選	片栗粉と間違われたくない葛粉
入選	粉々になっても値打ちあるダイヤ
入選	水中花に惚れた金魚の花粉症
入選	いい粉になれと回っている水車
入選	とりあえず粉々にするリサイクル
入選	消しゴムの粉百点へあと少し
入選	小袋に分けたりしないメリケン粉

入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選
効能が直ぐありそうな粉薬	薬づけでしたね粉になる遺骨	粉々を芸術にする万華鏡	小麦粉をつけてプライド揚げている	きな粉餅食べたどわかる孫の鼻	八ツ当りしているように粉を練る	王様は火の粉をかぶらないルール	ふるうのをサボってだまができた粉	粉にして無駄なく利用する煮干し	粉もんに大阪弁がよく似合う

宿題「軽い」 入選句	
入選	父の日も軽くみられるお父さん
入選	良い知らせ受話器が急に軽くなる
入選	押す度に母軽くなる車椅子
入選	軽口を叩くあなたの底が見え
入選	基準内検査結果の軽い足
入選	恋煩いだらう微熱が下がらない
入選	軽い財布孫の笑顔に負けました
入選	クレジット払い財布は軽くなり
入選	孫小柄組体操で頂上に
入選	バーゲンで軽いキャベツが残ってる

入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選
苦勞した分だけ軽い母だった	ピーマンの軽さを責めたりはしない	任せなど軽くうなづく二枚舌	軽口がふえる佛前七回忌	ハイハイと軽い返事で生き上手	張りばての岩を重たくする演技	卒業証書軽いが役に立つ手形	何時もスマホ脳が段々軽くなる	不意に友軽いドラマを持つてくる	紙コップの軽さで過去は過去と言う

入選	軽いけど悪い人ではなさそうだ
入選	終章へ軽い荷物を選っている
入選	軽いうそそして人生変えられる
入選	ストライクゾーンに入った軽い嘘
入選	乾杯にちよつと軽すぎ紙コップ
入選	オフレコが軽い人から漏れていく
入選	軽い嘘数えきれない年になり
入選	ギリギリで勝負している軽業師
入選	少しでも軽くなったら二重丸
入選	男の手軽く捌いてかくれんぼ

入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選
軽い財布で冒険はできません	深呼吸一つ分だけ軽くなる	父親の軽いとこだけ似た息子	車椅子あまりに軽い母の老い	はいはいと文句言わずに立ち上がる	旅に出る夫よ家事よサヨナラ	A1に仕事を軽くしてもらう	根気なくなり軽い本ばかり読む	しがらみを切ってハンドル軽くする	すぐ消せるメールに軽い恋がある

第十五回亀山市川柳大会

日時

令和元年八月十七日（土）

場所

亀山市文化会館2階 会議室

参加者

六十一名

主催

亀山市・龜山川柳会

後援

亀山市芸術文化協会

三重県川柳連盟

中日新聞社

